

A decorative border of bright yellow sunflowers with dark brown centers is placed in the four corners of the page. The background is a clear blue sky with scattered white clouds. The main image at the bottom shows a large, multi-story brick building with a dark green roof and a tall, cylindrical brick chimney. A set of stairs leads up to the entrance of the building. The overall scene is bright and sunny.

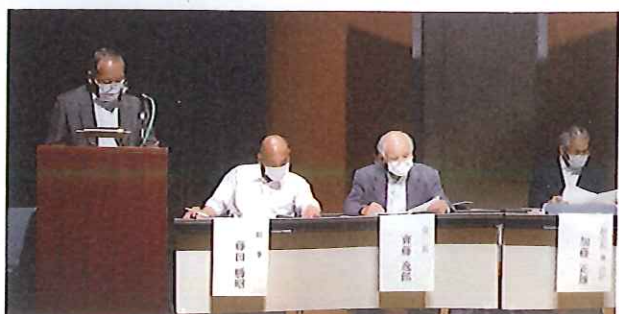
設立30周年記念誌

ひまわり

公益社団法人 野木町シルバー人材センター



令和3年6月16日開催 定時社員総会



令和3年6月16日開催 会員互助会定期総会

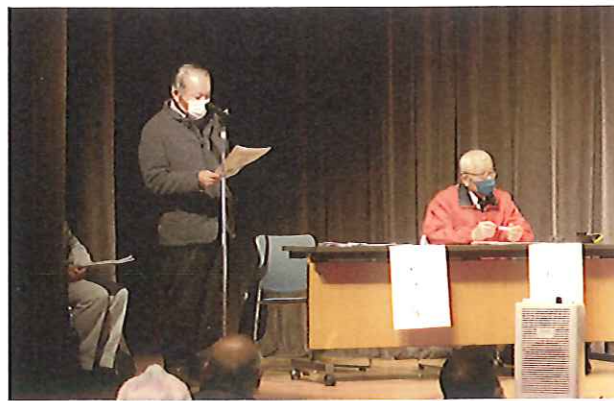
写真でつづる「シルバー事業紹介」講習会編



整枝剪定技能講習会 令和3年1月28・29日(新橋小学校)



刈払機安全講習会 令和3年7月26日(市民農園)



交通安全講習会 令和3年1月18日

写真でつづる「シルバー事業紹介」活動編



ボランティア活動スタート



シルバー人材センター内清掃



駅東口付近清掃



富士見公園清掃



駅西口でシルバーPR

シルバーの日の活動(令和3年10月16日)

目 次

| | |
|-------|---|
| 表紙 | 野木町の花「ひまわり」とレンガ窯 |
| 1～3 | 写真でつづる「シルバー事業紹介」総会・講習会・活動編 |
| 4 | 目次 |
| 5 | 公益社団法人野木町シルバー人材センター 理事長 針谷良七 挨拶 |
| 6 | 公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会 理事長 富田哲夫 様 ご祝辞 |
| 7 | 野木町長 真瀬宏子 様 ご祝辞 |
| 8 | 野木町シルバー人材センター会員互助会 会長 齊藤逸郎 挨拶 |
| 9～14 | 発注者様からのお祝いのことば ・ 医療法人社団 友志会 様 社会福祉法人 延寿会 様 日本ピストンリング株式会社栃木工場 様 栗田商事株式会社 様 新橋西1自治会 様 飯島秀太郎 様 小嶋 和江 様 片野 政子 様 |
| 15～18 | 会員の声 |
| 19～22 | 30年のあゆみ |
| 23～25 | グラフで見る事業実績統計資料 |
| 26～27 | 歴代役員紹介 |
| 28 | 設立30周年記念事業実行委員名 |
| 29 | 事務局長挨拶 |
| 30 | 編集後記 編集準備委員会 |
| 31～34 | 写真でつづる「シルバー事業紹介」仕事編 |
| 裏表紙 | 野木町の鳥「フクロウ」(野木神社) |



設立30周年を迎えて

公益社団法人野木町シルバー人材センター

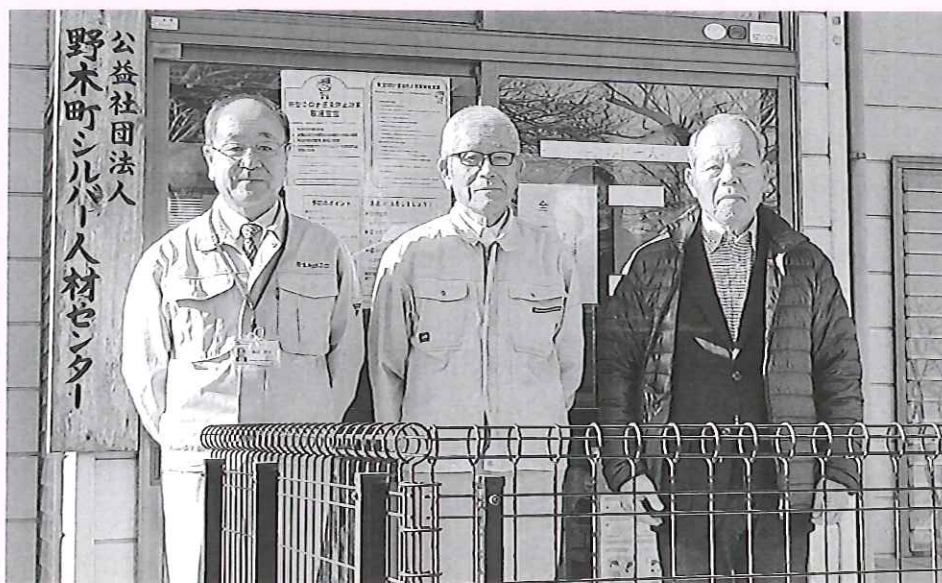
理事長 針谷 良七

平成4年2月に設立、本日ここに30周年を迎えることができました。これはひとえに、町役場、上部団体様、企業・団体様、町民の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

社団法人から公益社団法人へ移行して10年が経過しました。高年齢者の方々の生き甲斐の充実と健康の保持と合わせて、豊かな経験と知識・技能を地域に役立てていただく場として、活力ある高年齢者の就業の拠点、シルバー人材センターの果たす役割が重要と思われます。

人生100年時代を迎え、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改訂され、令和3年4月から、70歳までの就業機会の確保が事業者の努力義務となり、また一昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、会員数や契約額の減少等シルバー事業も大きな影響を受けており、シルバー事業への影響を注視しつつ、事業の実施に努めてまいります。

野木町シルバー人材センターも、設立30周年を一つの大きな節目とし、シルバー人材センターの理念である「自主・自立、協働・共助」をモットーに、設立時の初心に立ち戻って、地域の人達から信頼されるセンターづくりに向かって、会員・役職員と努力してまいります。





設立30周年によせて

公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会
理事長 富田 哲夫

公益社団法人野木町シルバー人材センターが、設立 30 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

平成 4 年の設立から今日まで、町民の皆様から、なくてはならない存在として信頼され、その期待に応えてこられましたのは、ひとえに歴代の役職員、会員の皆様のたゆみない努力と野木町の関係者の皆様のご理解、ご協力のたまものであると、ここに深く敬意を表し、感謝を申し上げる次第です。

令和 2 年 2 月に本県で初めて新型コロナウイルスの感染者が報告されて以来、この野木町をはじめ県全体において、新規の入会や業務の受注等に大きな影響を受けているところであります。

一方、我が国の少子高齢化は急速に進み、人口の減少とあいまって、一人暮らしの高齢者や空き家の増加など地域の課題も増えてきている中、地域に貢献し、就労による社会参加を通して高齢者の生きがいを目指すシルバー人材センターが、今後どのように活動の幅を広げ、期待に応えていくかが求められていると思います。

当連合会といたしましても、県内各センターの事業活動を様々な形で支援して参りたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどをお願いいたしますとともに、これからの野木町シルバー人材センターのますますのご発展を祈念申し上げまして、設立 30 周年のお祝いといたします。



野木町シルバー人材センター設立30周年を祝して

野木町長 真 瀬 宏 子

野木町シルバー人材センターが設立30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。また、会員の皆様方には、日頃より町政全般にわたり、多大な御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

野木町シルバー人材センターは、平成4年設立当時、67名の会員数でしたが、現在では260名近くの会員数となり、事業実績も年間1億2千万円を超える大きな組織となりました。高齢者の就業機会を確保し、高齢者が生涯現役として、その能力を発揮できる社会の実現に向けた重要な役割を果たし、地域に貢献してこられましたことは、歴代の理事長様をはじめとする役員並びに会員の皆様方のたゆまぬご尽力の賜物と深く敬意を表し、感謝申し上げます。

人生百年時代といわれる昨今、これからの時代は、社会福祉の受け手と、社会貢献の担い手を分けることなく、一人ひとりが地域の一員として、積極的に社会活動に参加し、お互いに支えあう地域を築いていくことが重要であると考えております。

そういった状況の中、今こそシルバー人材センターの設立理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、地域に密着した就労活動を通じて、地域社会を支える担い手となっただけでなく、長年培ってこられた知識と経験をもとに、皆様の能力を存分に発揮していただきたいと思っております。

本町としましても、「支えあい、心ふれあうやさしいまちづくり」を基本理念として、誰もが安心して、健康でいきいきと暮らせる環境を、皆様との協働によって実現してまいりたいと思っております。

さらに活力に満ちた町づくりを推進するためには、シルバー人材センターの会員の皆様方が、地域の中で活躍されることが大きな力となると考えております。これからも地域に根差したご活躍を心より期待しております。

結びとなりますが、野木町シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を心から御祈念申し上げまして、設立30周年のお祝いと致します。



設立30周年を迎えて

野木町シルバー人材センター会員互助会
会長 齊藤 逸郎

シルバー人材センター設立30周年の節目を迎えられ、共に喜びたいと思います。互助会会員の皆様方には常日頃から互助会に対してご支援、ご協力を頂き感謝に堪えません。

設立当初は生みの苦しみと言いますか何かと苦勞の連続ではなかったかと推察しております。当時の事務職員の懸命なご尽力により今日のシルバー人材センターがあるものと思っております。

日本の平均寿命は世界でもトップクラスになり、我が野木町でも65歳以上の高齢者は人口比33%を占めるように高齢化が進んでおります。国では働き方改革として各企業の定年延長、雇用延長を推進しております。その様な企業を取り巻く働き方の変化で当シルバー人材センターの会員数は260人ほどで、私の知る限りでは減少傾向にあります。

いかにして会員数を増やしていくか今後の課題として取り組んでいくことが求められています。シルバー人材センターは高齢者の働く拠点として今まで培ってきた技能、技術、経験を活かし働きながら人と人との交流で、仲間を作り今後の限られた人生を生き甲斐のある楽しく、有意義な人生を送れるシルバー人材センターでありたいと思っており、互助会もその一翼を担っていく所存です。そのことが互助会の役割であり、また、地域社会に貢献する事につながっていくものと思っております。

互助会の運営についていくつかの課題が挙げられています。会員の皆様のお力をいただきながらより良い互助会を形成していきたいと思っております。

会員皆様の健康を願い益々のご活躍そして互助会に対してのご支援ご協力をお願いし私の挨拶といたします。

<会員互助会新年交流会 令和2年1月28日>



「設立30周年を祝して」

医療法人社団 友志会

理事長 正岡太郎

このたびは、野木町シルバー人材センター設立30周年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

平成元年の野木病院開設以来、病院・福祉施設を運営していくにあたり、当法人は長年にわたり貴センターの多大なご協力をいただいております。

会員の皆様には清掃、施設管理、宿直と多岐にわたる業務をお願いしておりますが、皆様の人生経験と社会経験を活かし、職員のみならず患者様・利用者様とも信頼関係を築きながら、より良い病院・より良い施設の実現に多大な貢献をされていることに心から感謝申し上げます。

日本の高齢化率が28.8%に達し、医療と介護のニーズが大きく増大する一方で、少子化によって医療と介護の人材不足が深刻化するという困難な状況にありながら、当法人が今日までサービスを提供し続けることができたのは、ひとえに貴センターと会員の皆様の多大なお力添えがあつてこそです。

最後になりますが、野木町シルバー人材センター様の益々のご発展と、会員の皆様が健康でご活躍されることを心から祈念いたしております。

設立30周年、おめでとうございます。

<ひまわり荘周辺>



「設立30周年を祝して」

社会福祉法人 延寿会

理事長 河合 亜希子

このたびは、野木町シルバー人材センターが設立30周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

30年という長きにわたり、貴センターが順調な発展を遂げられていることは、役員をはじめ、職員、会員の皆様の真摯な活動の賜物と敬意を表します。

社会福祉法人延寿会が運営する特別養護老人ホーム虹の舎、キラリの舎も、貴センターに宿直や施設管理、清掃業務などを発注しておりますが、業務を担って頂いている会員の皆様は、ともに施設の安全・安心な運営を支える信頼のパートナーであります。

現在、介護福祉施設も深刻な人手不足に加え、新型コロナウイルス感染拡大による影響などにより大変厳しい環境に置かれております。そのような中で、会員の皆様が人生の知識と経験を生かして、生きがいをもって働いておられるお姿に触れ、施設のスタッフも大きなパワーを頂いていると感じております。

今後とも、貴センターにおかれては、高齢者の生きがい就業の場づくりを通し、地域社会に貢献されることを期待申し上げます。

最後に、貴センターの益々のご発展と、会員の皆様がいつまでも健康で幸せに活躍されることを心より祈念いたします。

<キラリの舎>



<虹の舎>



「設立30周年を祝して」

日本ピストンリング株式会社 栃木工場(野木分工場)

工場長 大 高 和 義

公益社団法人野木町シルバー人材センター設立30周年を心よりお祝い申し上げます。
弊社は、1984年に野木町に栃木工場を開設し、その5年後の1989年に野木分工場を開設して以来、長年にわたり貴センターのご協力を頂いております。

当社においては、環境整備と場内清掃を中心として業務をお願いしておりますが、我々従業員には気づかない細かなところも今までの人生経験や社会経験を活かし、確実にそして丁寧に日々の業務を遂行して頂いていることに深く感謝申し上げます。

これからも地域になくってはならない存在として、野木町シルバー人材センター様の益々のご発展と会員皆様をはじめ関係各位のご健勝を心よりご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

設立30周年、誠におめでとうございます。

< 栃木工場 >



「設立30周年を祝して」

栗田商事株式会社

代表取締役 栗田好弘

この度は、公益社団法人野木町シルバー人材センターの設立30周年とのこと、大変喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

これもひとえに理事長様をはじめスタッフの皆様のご尽力と、会員の皆様の平日頃のご努力の賜物と心より敬服し深く感謝するところでございます。

弊社は野木ブランド認定品、栃木県伝統工芸品指定品の渡良瀬遊水地よしずを生産するためのヨシの収穫、全国にて文化財指定を受けた茅葺屋根の修復のための屋根ガヤの収穫にあたり、長年貴センターにご協力を頂き会員の皆様のお力添えを頂きまして、現在では全国的に事業者の少なくなった国産よしずの生産や材料の収穫を継続してこられました。

昨今のコロナ禍にあたり、多様な作業をこなされるにあたっては従来以上のご努力やご苦労があるかと存じますが、ぜひ今後とも皆様の更なるご努力とご活躍で野木町シルバー人材センターがより一層ご発展されますこととともに、スタッフ会員皆様のご健康をご祈念申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。

< 渡良瀬遊水地におけるヨシ刈り >



新橋西1自治会員一同
代表 令和3年度新橋西1自治会長

横山哲也様

この度は、設立30周年を迎えられ誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

私ども、新橋西1自治会と致しましては長きに渡り年4,5回、新橋西1集会所の草刈りや剪定などお世話になっております。また当自治会では会計がシルバーさんに依頼をする担当になっております。毎回、迅速に丁寧な作業でまた近隣住民への心配りをして頂き大変ありがたく思っております。

その他会員の皆様の特技を活かした幅広く多面的な活動が町民の生活向上に寄与している事に感謝しています。

私達が知り得ない部分にも多くのシルバーの方々にお世話になっているのだと実感しております。シルバーの方々が元気に活躍される事が町や自治体、野木町で生活している方々の活力にも繋がっていると思います。これからも皆様方の御活躍を楽しみにしております。

また、シルバー人材センターがますます発展され住民の皆様にあ愛されていくことを願っております。

今後の皆様方の御健康を祈念しましてお祝いの言葉とさせていただきます。



野木町友沼

飯島秀太郎様

何時もお世話になっております。

公益社団法人野木町シルバー人材センター設立30周年心よりお慶び申し上げます。

10年前の設立20周年の際にも、同様な感謝の感想を述べさせていただいて、もう10年経っていた事が理解出来ました。当時は年老いた母を施設に預けていましたが、その母も亡くなりましたが、現在も自営で仕事を持ち、たまには海外出張もあり、家事が十分に出来ない状態に来ていました。現在はコロナで海外はほとんど行けない状態ですが、依頼回数は減りましたが、掃除などをお願いして助かっています。

特に風呂場のタイルなどは、掃除が行き届いているおかげで、カビなども生える事もなく、家全体が老化せずに暮らしていける感じが致します。

暮れにはガラス磨きや大掃除も手伝っていただき、ありがとうございます。

これからもシルバー人材センターの発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。



野木町野渡

小嶋和江様

何時もお世話になっています。

公益社団法人野木町シルバー人材センター設立 30 周年お喜び申し上げます。

シルバー人材センターには 20 年近くお世話になっています。亡くなった義母が草木を愛し植えた多彩な木が癒しを与えてくれています。配置を考えて作った庭も 40 年も経つとそれぞれが大きくなり手に負えなくなります。毎年一度剪定をお願いしていますが、ここ何年かは何本か間引いてもらうようにしています。

木の名前もわからなく、手入れも思うようにできていませんが来て下さる方は名前を教えて下さったりしてありがたいです。回りには新しい家がどんどん出来てきたので、落ち葉や、倒木などに気をつけないといけないですが、これからもアドバイスをいただきながら緑を愛でたいと思っています。

これからもシルバー人材センターの発展と皆様のご活躍をお祈りしております。



誠意の作業で見栄えの庭に！

野木町佐川野

片野政子様

この度は公益社団法人野木町シルバー人材センター設立 30 周年おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

1 年を通し大変お世話になっております。その立場から感想を述べさせていただきます。両親の見送り後、夫婦 2 人暮らしの家庭です。共に庭の維持管理をしてきましたが、年を重ねるなか私達だけではままならず 5 年程前からシルバー人材の方々に依頼しております。年に草取り、草刈りを 3 回、植木の剪定を 2 回程お願いし、大変助かっております。盛暑や寒さの中、熱心に作業をされる姿に頭が下がります。今や我が家の庭はシルバー人材センターの方々により保たれていると言っても過言ではありません。心より感謝申し上げます。

末永きシルバー人材センター益々のご発展と皆様のご健勝と御活躍を祈念申し上げます。



25年を振り返って

染谷 隆子 平成6年5月入会

野木町シルバー人材センター設立30周年おめでとうございます。

私が入会するきっかけは、健康センター（ゆ〜らんど）が出来た時、お風呂掃除の
仕事の手がそろわず声が掛かり入会に至りました。

その他、家事援助サービスの仕事で個人宅の清掃、食事作り、病院への付き添い等、
事務局から仕事を紹介され私に出来るか不安や悩みもありましたが、どの仕事も出逢
いの1つと考え挑戦してきました。仕事に就いてみると苦労はありましたが良い仲間
に恵まれて安心して仕事が出来ました。

おかげさまで、友達との絆も深まり、元気で日常生活を続ける事が出来ています。
現在は家事援助サービスと野木病院の清掃の仕事をしています。

以前は、1泊旅行、サークル活動等が有り、楽しい思い出も有ります。サークル活
動の卓球は、現在でも続いており練習日が来るのが楽しみです。

健康に気をつけシルバー人材センターの会員として仕事に興味に頑張りたいと思います。



ささやかな生き甲斐を糧に

五十嵐 幸枝 平成11年4月入会

設立30周年おめでとうございます。

入会してはや22年、顧みれば入会して間もなく家事援助サービスという仕事を紹介し
て頂きました。始めの頃は慣れない仕事に戸惑い、不安と緊張の日々でしたが、事務局の
皆様をはじめ経験豊かな諸先輩方のご指導の下で、多くの事を学ばせていただきました。
そのお陰でこの22年間を大過なく従事できました事に心から感謝致して居ります。

今後も微力な私ですが、必要として下さる地域の方達のお役に立てる喜びを生き甲斐に、
またシルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」をモットーに会員と
しての誇りを持って日々努力していきたいと思っております。

今後共変わらぬご指導を宜しくお願いいたします。

最後に地域の方々や会員の皆様から愛され、益々発展されるシルバー人材センターであ
りますようお願い申し上げます。



30周年記念誌発行に寄せて

伴 光 夫 平成17年4月入会

地域社会に根つき、住民に親しまれているシルバー人材センターに入会して16年を顧みて、思うところ大で有る。

平成17年4月入所後、半月程で現在の南赤塚にある堆肥センターの就業依頼が有り、現場見学をしたが辞退した。その時のセンター職員に言われた事が今でも心に残る言葉である「伴さん、仕事を選んでいると次の仕事は中々有りませんよ」でした。それから、幸運にも5月の連休中に公民館の仕事依頼が来た。日曜・祭日及び夕方から22時までの夜の仕事ですが宜しいか、との話をされたが、私としては何ら苦になる仕事ではなかったなので、即引き受けた結果なんと9年間も勤務。

仕事の内容も苦になるどころか楽しく勤務出来た事は何と言っても仲間の方々との良き縁が大で有った。今でも楽しく親交させて頂いている。その間、理事職及び互助会の職をし、職業開拓部会を立ち上げて企業へのアプローチ、ブルーミング前の踏切立哨第一期生業務に携わったのである。

今後も、末永くセンターの発展を願う次第です。



野木町シルバー人材センター設立30周年記念に寄せて

広 瀬 雄次郎 平成23年8月入会

私は、台東区環境局を65歳の時定年退職しました。

現役の頃は、退職したら遊びに行ったり、家に居たり、ゆっくり毎日過ごしたいと思っていました。

ところが妻から粗大ごみ扱いをされ、また人生は長いこれではいけないと思い、町の広報にシルバー人材センターの募集を見て応募し、駐輪場の仕事に5年間働きました。

仕事は、野木駅東西4か所の駐輪場の整理です。朝7時から9時迄で、笑顔の人、暗い人、時間ギリギリでかけていく人等色々です。

そのような人に明るく、元気よくいってらっしゃいと爽やかな声を掛けました。

今は、町内のゴミ集積所のパトロールと、ゴミ出しサポートをKさんと2人で週2日働いています。

そして心身ともに充実し、有意義な毎日を送っています。

これも、偏に事務所や関係者の方によるものと、心から感謝しています。

これからもシルバー人材センターの皆様と共に、第2の人生黄金の15年を明るく、楽しく、元気よく歩んで行きます。



喜ばれ信頼される努力を!!

刈払B班

藤田 勝 昭 平成24年4月入会

30周年を迎え、先輩諸氏のご活躍に心より敬意を表します。

センターは高齢者に働く喜びと社会参加を与えてくれる組織として今後ますます重要になり、高齢者に適合する就業開拓が急がれます。

仕事は刈り払い作業で、夏場は気温の上昇と草の成長はセットなので大変な作業になります。

しかし、作業を終えて依頼主から「きれいになった、丁寧にやってくれてありがとう」「また頼みたい」の言葉を頂いた時は、作業の疲れも和らぎ明日の労働意欲に繋がります。この作業はちょっとした油断が、事故につながります。事故防止には作業開始前のミーティング、万全な安全対策を講じる事が大切で有り、併せて「チームワーク」の取れた作業に心掛けています。

私達が除草した公園で子供達が元気よく遊んでいる姿を眼にした時に、仕事の大変な思いが喜びに代わります。

平均年齢76歳のチームですが、町民に喜んでもらえる仕事に誇りを持って健康に留意しながら頑張ります！



野木町シルバー人材センターの未来に思いを馳せて

植木班

中尾 清 茂 平成26年11月入会

「野木町シルバー人材センター設立30周年」を、心からご祝詞申し上げます。

私は、センターの会員となって7年が経過しました。

この間、夜間の施設管理、植木剪定作業に従事し、さまざまな職場において人生を歩んでこられた方々と接する中で、新しい知識や沢山の喜びを得てきました。

植木剪定作業では、「有り難うございました」の依頼者からの一言で、この作業をやっている者にしか感じられない良い気分を味わっています。

最近、定年延長が図られたことも一因となっているのか、平成22年の292人をピークに会員は減少していると伺い、センターへの入会者が少なくなっていることに危機感を覚えます。

人口の減少と高齢者人口の増加という現象の中で、センターは単に高齢者に働く場を提供するだけではなく、地域社会の支えとして、「人生100年時代」に相応しい、生きがいを提供する場としての使命があるのではないのでしょうか。

私は、自身の健康管理と事故防止に努め、組織の一員として就業を通じて、センターが次の世代まで続いていくよう微力ではあるが頑張っていきたいと思う。



野木町シルバー人材センター設立30周年おめでとうございます。

施設管理公民館班 班長

大浦 高雄 平成28年4月入会

施設管理公民館班は8人のメンバーが2人1組で月曜日を除く毎日17時から22時までと、祝日の9時から17時まで公民館において次の業務を行っています。公民館、体育館、運動場の予約及び現金收受、利用時の鍵の開閉、最終戸締り等です。8人が2人1組ですと28通りの組合せとなり、メンバーはほぼ1か月に1回の顔合わせとなります。

令和元年まではふれあい夏祭り、文化祭、公民館祭り、駅伝大会とイベントが賑やかに開催されていましたが、令和2年になってからはコロナ禍で施設の閉鎖に伴い中止となり我々もやむなく延べ数か月にわたり就業不可となってしまいました。このようなことが二度と起こらないように令和4年こそはコロナを克服し町民皆様様がマスクなしの生活に戻り、かつての賑やかな活動ができることを切に願うものです。



野木町シルバー人材センター設立30周年記念に寄せて

山口 清敏 令和2年8月入会

野木町シルバー人材センター設立30年になることを知り、その存続と功績にお祝い申し上げます。

私も定年になりしばらくは自宅生活をしていましたが、もう一度社会との繋がりを持ちたいと思い、そうそうセンターを利用させて頂きました。

さすがに長年の実績があり、入会に際しましては、親切丁寧に指導して頂き企業内清掃員として、就業する事が出来ました。年齢的には74歳という一抹の不安もありましたが、働くことによって何よりも生活にメリハリが出来、充実した暮らしと健康を保つのに大変役に立っております。シニア世代になっても就業が出来て、色々な体験もさせて頂き改めてセンターの存続に感謝しています。

これから同センターの存在を広く、同世代の方々にアピールしていきたいと思っております。

30年のあゆみ

| | | |
|------------|---------|--|
| 平成 3年度 | 7月 1日 | 町健康福祉課に設立準備室設置 |
| | 8月 20日 | 設立準備連絡会議 |
| | 2月 28日 | 野木町シルバー人材センター設立総会 会員数 74名（正会員67名、特別会員7名） |
| | 3月 27日 | 設立認可（栃木県知事） |
| 平成 4年度 | 4月 1日 | 事務所開設（野木町役場庁舎内） 職員事務局長1名（町より派遣） |
| | 4月 3日 | 社団法人登記完了 |
| | 6月 1日 | 社団法人野木町シルバー人材センター開業 |
| 平成 5年度 | 5月 27日 | 通常総会開催 会員数 75名（正会員68名、特別会員7名） 会員互助会設立総会 会員数 68名 |
| | 9月 28日 | 会員互助会親睦旅行（鬼怒川温泉）19名参加 |
| | 12月 9日 | 地区別懇談会開催 |
| 平成 6年度 | 5月 27日 | 通常総会開催 会員数 93名（正会員86名、特別会員7名） |
| | 6月 28日 | 障子・襖貼り講習会参加（都賀町） |
| | 10月 24日 | 下都賀地区職員連絡協議会設立総会出席 |
| | 2月 22日 | 職員交流研修会出席 |
| 平成 7年度 | 5月 31日 | 通常総会開催 会員数 121名（正会員114名、特別会員7名） |
| | 10月 30日 | 植木講習会参加（栃シ連開催） |
| | 2月 6日 | 事務所移転開所式 |
| | 2月 20日 | 職員交流研修会出席 |
| 平成 8年度 | 5月 20日 | 通常総会開催 会員数 127名（正会員121名、特別会員6名） |
| | 7月 16日 | 障子・襖貼り講習会参加（小山市） |
| | 2月 4日 | 植木剪定講習会参加（小山市） |
| | 2月 25日 | 安全就業対策研修会出席（栃シ連） |
| 平成 9年度 | 4月 1日 | 「安全・適正就業委員会」設置 |
| | 5月 20日 | 通常総会開催 会員数 154名（正会員147名、特別会員7名） |
| | 7月 15日 | 障子・襖貼り講習会参加（石橋町） |
| | 10月 22日 | 安全委員会講習会参加（交通・健康講話）43名 |
| | 3月 10日 | 植木剪定講習会参加（国分寺町） |
| 平成 10年度 | 5月 29日 | 通常総会開催 会員数 176名（正会員169名、特別会員7名） |
| | 6月 22日 | 福祉家事援助サービス事業担当者研修会参加 |
| | 9月 25日 | 安全就業推進大会出席（宇都宮市） |
| | 3月 2日 | 植木職養成研修会参加（壬生町） |
| 平成 11年度 | 5月 28日 | 通常総会開催 会員数 204名（正会員197名、特別会員7名） |
| | 9月 7日 | 介護講習第2種開催（家事援助サービス）70名参加 |
| | 11月 11日 | ホームヘルパー養成研修3級課程参加 |
| | 1月 27日 | 安全委員会講習会開催（交通・健康講話）57名参加 |
| 平成 12年度 | 5月 26日 | 通常総会開催 会員数 191名（正会員184名、特別会員7名） |
| | 7月 10日 | ホームヘルパー養成研修2級課程参加 |
| | 9月 18日 | ホームヘルパー養成研修3級課程参加 |
| | 2月 2日 | 刈払機取扱作業安全衛生教育講習会参加 |
| 平成 13年度 | 5月 24日 | 通常総会開催（出席者130名 内委任状39名） |
| | 9月 3日 | 建物内装講習会参加（国分寺町） |
| | 10月 2日 | 訪問介護員養成研修参加（石橋町） |
| | 2月 4日 | 植木剪定講習会開催 30名参加 |
| 平成 14年度 | 5月 24日 | 通常総会開催（出席者146名 内委任状51名） |
| | 1月 22日 | 安全委員会講習会開催 55名参加 |
| | 1月 27日 | 障子・襖貼り講習会開催 |
| | 3月 13日 | 植木剪定講習会開催 15名参加 |
| 平成 15年度 | 5月 20日 | 通常総会開催（出席者122名 内委任状25名） |
| | 9月 9日 | 地区別介護講習会参加（国分寺町） |
| | 11月 11日 | 第2種技能介護講習会開催 15名 |
| | 3月 15日 | 緑地保全管理講習会開催 23名 |

30年のあゆみ

| | | |
|------------|--------|---------------------------------------|
| 平成 16年度 | 5月25日 | 通常総会開催（出席者150名 内委任状50名） |
| | 9月13日 | 第2種介護講習会参加（家事援助サービス） |
| | 1月12日 | 緑地保全管理講習会参加（小山市） |
| | 1月25日 | 安全講習会開催 58名 |
| 平成 17年度 | 5月31日 | 通常総会開催（出席者178名 内委任状63名） |
| | 9月20日 | 表具・建物講習会開催 22名 |
| | 11月24日 | 介護支援・家事援助サービス講習会参加 |
| | 1月27日 | 交通安全・健康と体力作り講習会開催 80名 |
| 平成 18年度 | 5月30日 | 通常総会開催（出席者190名 内委任状80名） |
| | 1月16日 | 交通安全・健康と体力作り講習会開催 |
| | 1月24日 | 緑地保全管理講習会開催 32名 |
| | 3月7日 | 金属加工（刃物）講習会開催 22名 |
| 平成 19年度 | 5月30日 | 通常総会開催（出席者197名 内委任状92名） |
| | 6月21日 | 設立15周年記念式典 |
| | 12月10日 | 建物内装講習会参加 14名 |
| | 1月25日 | 交通安全・健康と体力作り講習会開催 72名 |
| | 3月17日 | 金属加工（刃物）講習会開催 20名 |
| 平成 20年度 | 5月26日 | 通常総会開催（出席者212名 内委任状97名） |
| | 9月11日 | 安全講習会開催 90名参加 |
| | 12月11日 | 造園アシスタント講習会 5名参加 |
| | 1月25日 | 高齢者の交通安全・こころの健康について 99名参加 |
| 平成 21年度 | 5月28日 | 通常総会開催（出席者200名 内委任状80名） |
| | 7月25日 | 安全講習会開催 75名参加 |
| | 1月30日 | 安全講習会開催 125名参加 |
| 平成 22年度 | 5月25日 | 通常総会開催（出席者233名 内委任状101名） |
| | 7月26日 | 安全講習会開催 80名 |
| | 8月30日 | 刃物砥ぎ講習会（事業立上げ準備）開催 7名 |
| | 10月26日 | 刃物砥ぎ実施状況視察（佐野市シルバー） 3名 |
| 平成 23年度 | 5月30日 | 通常総会開催（出席者212名 内委任状98名） |
| | 1月27日 | 安全講習会開催 103名 |
| 平成 24年度 | 4月1日 | 公益社団法人登記完了 |
| | 4月1日 | 「普及啓発部会」「就業開拓部会」「家事援助サービス部会」設置 |
| | 5月31日 | 通常総会開催（出席者227名 内委任状107名） |
| | 5月31日 | 設立20周年記念式典 |
| | 10月20日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 1月25日 | 安全講習会開催 72名 |
| 平成 25年度 | 6月6日 | 通常総会開催〔出席社員数（委任状及び議決権行使書による者を含む）221名〕 |
| | 10月19日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 1月28日 | 安全講習会開催 71名参加 |
| 平成 26年度 | 5月30日 | 通常総会開催〔出席社員数（委任状及び議決権行使書による者を含む）208名〕 |
| | 10月18日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 1月27日 | 安全講習会開催 69名参加 |
| 平成 27年度 | 6月19日 | 通常総会開催〔出席社員数（委任状及び議決権行使書による者を含む）198名〕 |
| | 10月17日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 12月24日 | 佐野市シルバー人材センターとの情報交換会 |
| | 1月21日 | 古河市シルバー人材センターとの情報交換会 |
| | 1月26日 | 安全講習会開催 77名参加 |
| | 2月17日 | 小山市シルバー人材センターとの情報交換会 |
| 平成 28年度 | 6月22日 | 通常総会開催〔出席社員数（委任状及び議決権行使書による者を含む）205名〕 |
| | 7月12日 | 刈払機安全講習会 4名参加（運動公園従事者） |
| | 10月15日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 1月31日 | 「認知症サポーター養成講座」講習会開催 53名参加 |
| | 3月22日 | シルバーサロンの開設 |

30年のあゆみ

| | | |
|------------|--------------|---|
| 平成 29年度 | 6月21日 | 通常総会開催 [出席社員数(委任状及び議決権行使書による者を含む) 200名] |
| | 7月24日 | 刈払機安全講習会 9名参加 |
| | 10月14日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 11月12日 | 産業祭 出店 (普及啓発活動、刃物研ぎ) |
| | 1月23日 | 健康づくり講習会開催 100名参加 |
| 平成 30年度 | 6月20日 | 通常総会開催 [出席社員数(委任状及び議決権行使書による者を含む) 215名] |
| | 10月 | 独自事業『スマホの楽校』『パソコンの楽校』 『ホームページ製作』『蕎麦打ち講師派遣』立上げ |
| | 10月13日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 11月11日 | 産業祭 出店 (普及啓発活動、刃物研ぎ) |
| | 1月29日 | 安全講習会開催 55名参加 |
| | 2月21日 | 野木町と空家等の適正な管理の推進に関する協定書 締結 [空家管理サービス開始] |
| | 3月7日 | 刈払機取扱作業安全衛生教育開催 17名参加 |
| 令和 元年度 | 6月19日 | 通常総会開催 [出席社員数(委任状及び議決権行使書による者を含む) 208名] |
| | 6月19日 | 『第一次中長期計画書』制定<令和元年度～令和10年度> |
| | 7月10日 | 小山市シルバー人材センターとの情報交換会 |
| | 8月19～ 20日 | 労働安全衛生規則改正に伴うチェーンソー特別教育開催 12名参加 |
| | 9月19日 | 「女性会員拡大部会」発足 |
| | 10月19日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 10月25日 | センター役員選考委員会発足 |
| | 11月9日 | 産業祭 出店 (普及啓発活動、刃物研ぎ) |
| | 12月27日 | 生け花講習会開催 |
| | 1月28日 | 安全講習会開催 56名参加 |
| | 2月4日 | 結城市シルバー人材センターとの情報交流会 [理事会メンバー参加] |
| | 2月21日 | 関東ブロックシルバー人材センター役職員研修会 |
| | 2月25日 | 4シルバー人材センター情報交換会 [野木町、下野市、壬生町、上三川町] |
| 令和 2年度 | 4月1日 | 「職群班」の設置と班長制度発足 |
| | 5月 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため手作りマスクの作成ボランティア活動 6月1日の学校再開時に、野木町の小学一年生全員に町長より配布。 |
| | 6月17日 | 通常総会開催 [出席社員数(委任状及び議決権行使書による者を含む) 192名] |
| | 10月17日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 1月13日 | 「月刊シルバー人材センター」カメラルポ取材→令和3年4月号掲載「スマホの楽校」 |
| | 1月18日 | 交通安全講習会開催(エニスホール) 60名参加 |
| | 1月28～ 29日 | 整枝剪定技能講習会 13名参加 |
| | 2月17日 | 「栃木県シルバー人材センター女性の会」立上げ(野木町女性理事参画) |
| | 2月18日 | 設立30周年記念事業準備委員会 [記念式典、記念誌] 及び実行委員会発足 |
| | 2月22日 | フレイル講習会 10名参加 |
| | 3月24日 | 独自事業『書道教室』立上げ |
| 令和 3年度 | 6月16日 | 通常総会開催 [出席社員数(委任状及び議決権行使書による者を含む) 169名] |
| | 10月16日 | シルバーの日「普及啓発・ボランティア活動」 |
| | 11月11日 | 小山市シルバー人材センターとの情報交流会 [就業開拓連携] |
| | 12月8日 | 戸田市シルバー人材センターとの情報交流会 [独自事業] |
| | 12月16日 | フレイル講習会(町健康福祉課支援) 7名参加 |
| | 12月22日 | 栃木県高齢対策課生きがいづくり担当・栃木いきいきクラブとの情報交流会 [とちぎ生涯現役シニア応援] |
| | 1月12日 | 交通安全講習会開催(エニスホール) 69名参加 |

下野新聞(掲載日:2020年5月15日)

面名:各地, 記事ID:KIJ20200515_01022000100316006



**手作りマスク
野木町に続々**

【野木】新型コロナウイルスの影響で臨時休校中の学校再開に向けて、複数の町民団体が子ども向けの布マスクを手作りし、14日までに町に相次いで寄贈した。

町更生保護女性会(伏木ミサ子会長)と「ほっとステーション」(小関良枝代表)のメンバー有志ら2写真上は、町ボランティア支援



センターの呼び掛けに応じ、計188枚を作った。

また町社会福祉ボランティア連絡協議会(田畑義明会長)と町シルバー人材センター(針谷良七理事長)2写真下は、裁縫が得意な女性会員が中心となり計305枚を作製した。

それぞれ12日と14日に代表者らが町役場を訪れ、瀬宏子町長2写真上、右から2人目2に手渡した。町教委は小中学校を通して配布する予定。

月刊シルバー人材センター(2021年4月号)

野木町SC(栃木県)



「スマホの楽校」で生涯学習支援

スマホに詳しい会員が講師となって、「スマホの楽校」を開催。受講者は、1回500円で自分の機器を使って操作を学べる。カフェ形式の授業もあり、生涯学習に貢献している。



野木町SCでは、毎月第2・4水曜日に「スマホの楽校」を開催。会員2人が講師を務める。取材日の午前のはカフェ形式で講座を行い、5人の町民がスマホの操作方法について学んだ

公益団法人野木町シルバー人材センターは、栃木県の最西部にあり、J&K学園の古岡孝と野木泉のほほ中間に位置する。七月八月には各地で一斉にヒマワリが咲き、町のシンボルになっている。無料講座から独自講義へ

町民対象の「スマホの楽校」

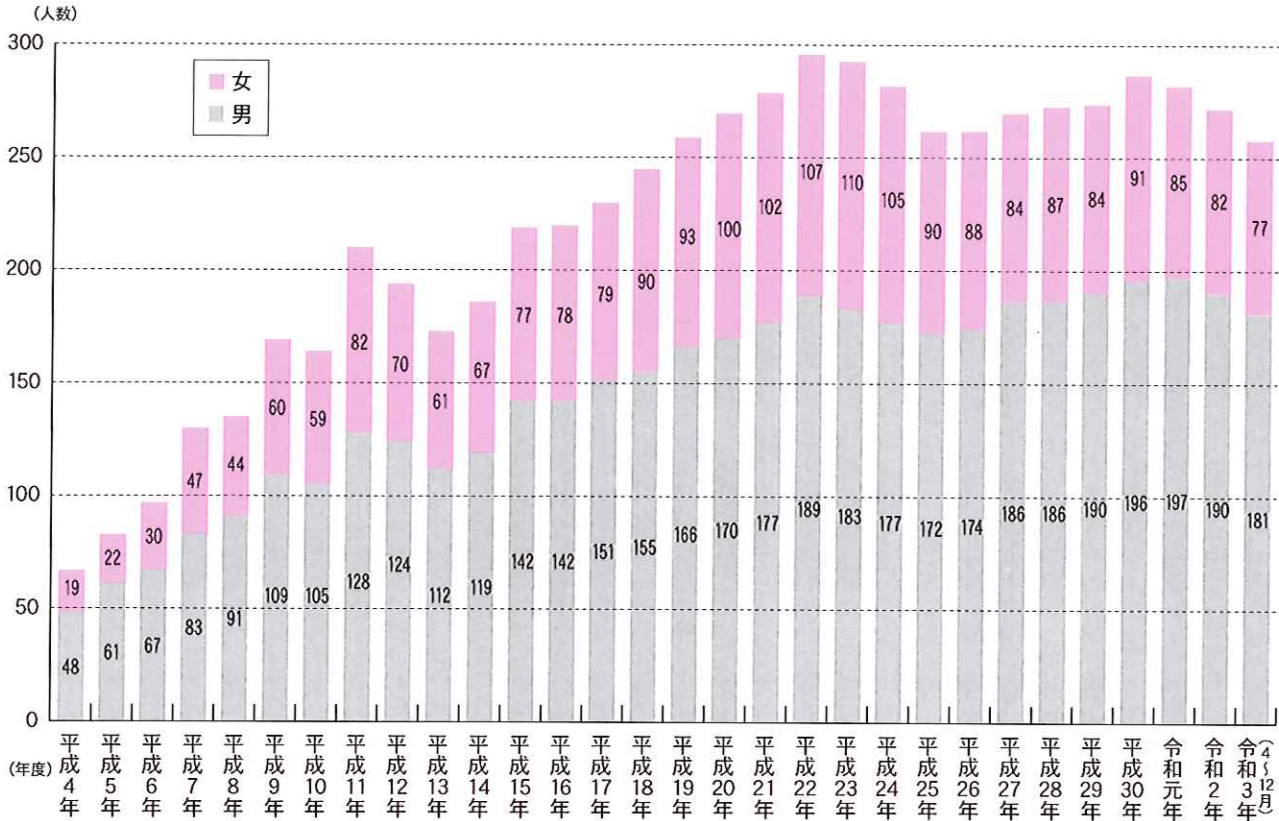
今回は、独自講義として行っている「スマホの楽校」を取材した。「スマホの楽校」は、センターの規程会である会員互助会が町民向けに無料で開催していた。平成二十九年十一月、当館中心となって活動していた三人の会員が独自講義化を理事会に提案。シニアのためのスマホなんでも相談室「スマホの楽校」として、平成三十年十月からスタートした。

カフェ形式の授業も

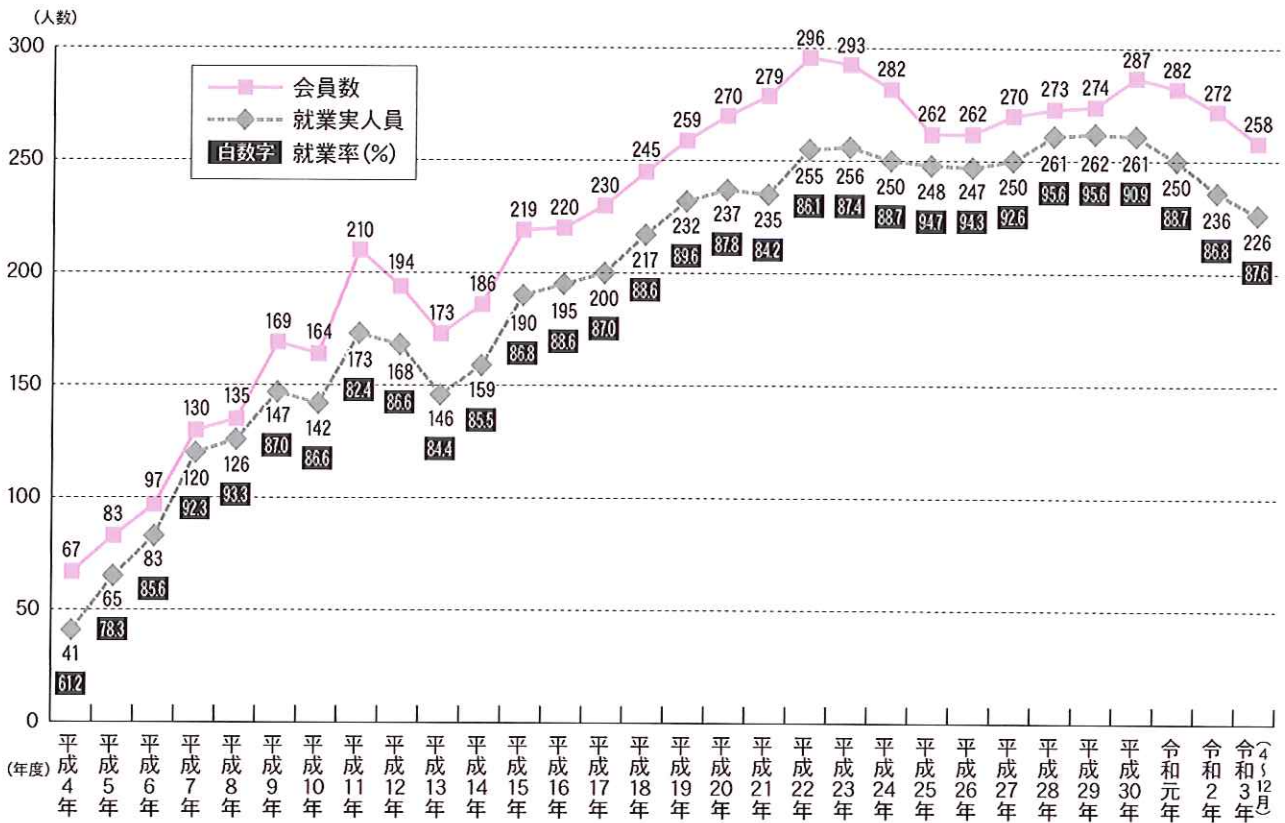
スマートフォン(以下、スマホ)を購入したが使い方が分からない。こんな初歩的なことを聞

30年の事業実績統計資料

【年度別会員数】

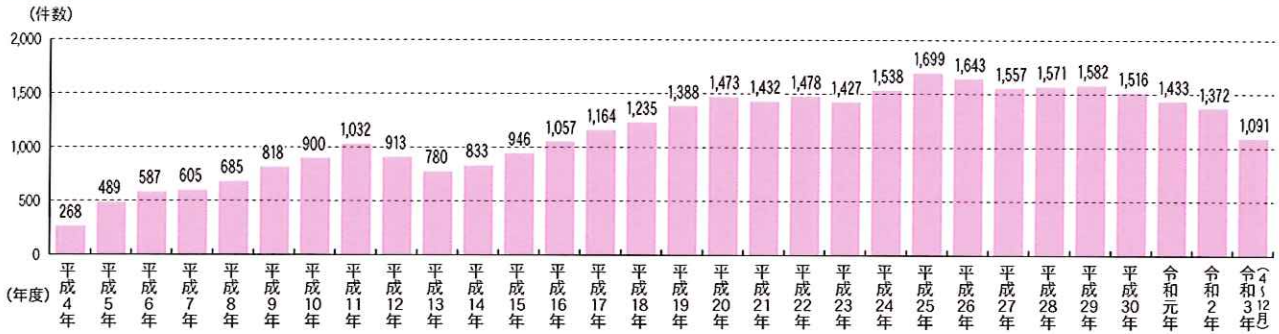


【年度別就業実人員と会員数・就業率】

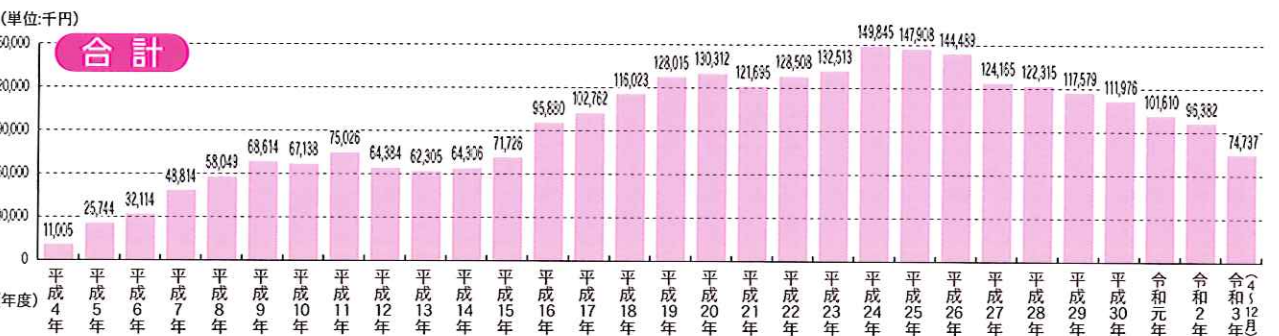
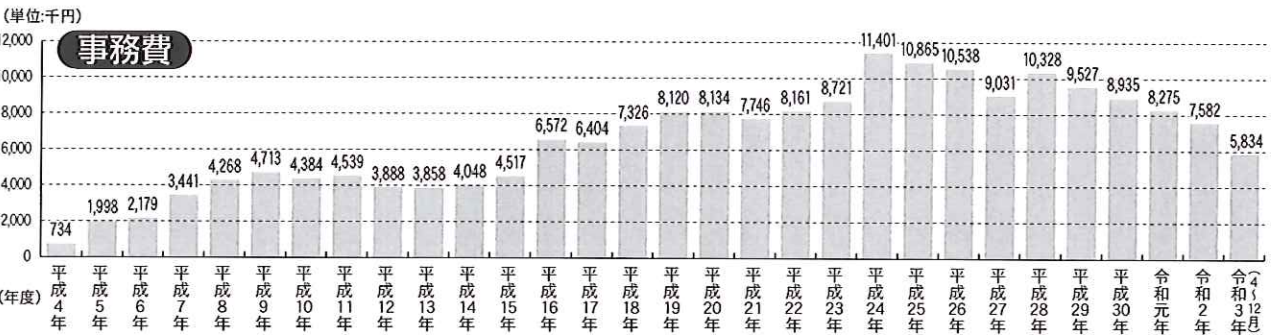
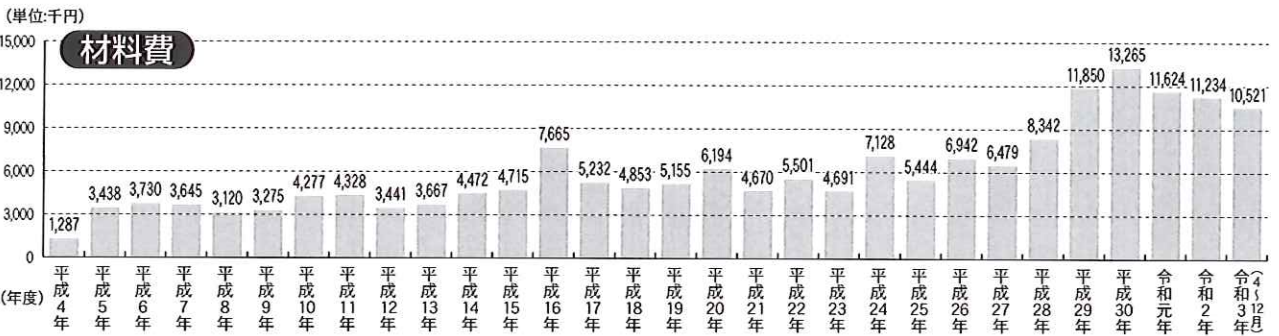
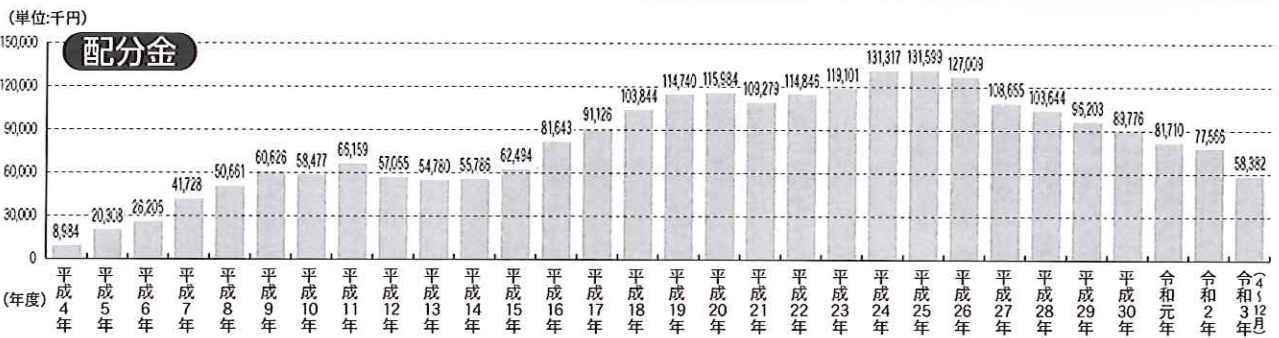


30年の事業実績統計資料

【年度別受託件数】

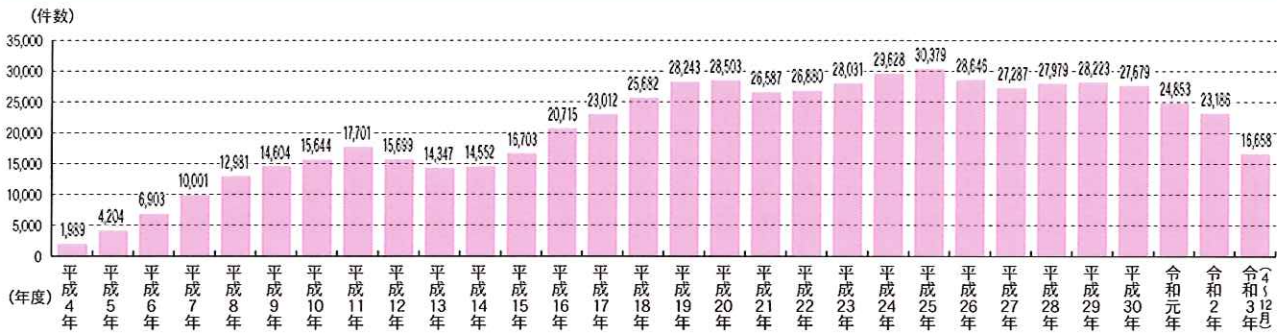


【年度別契約金額】

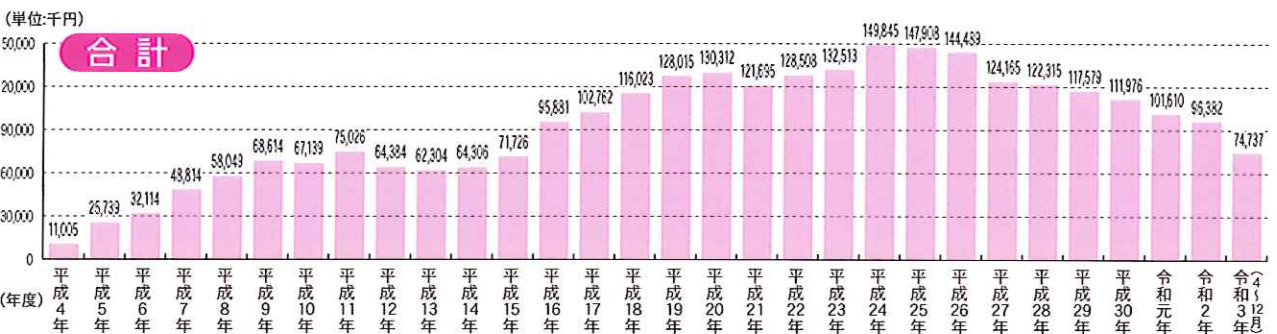
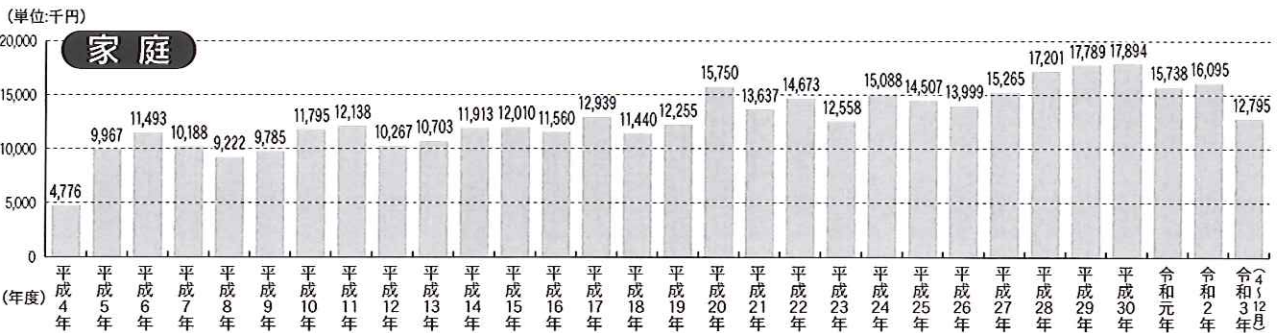
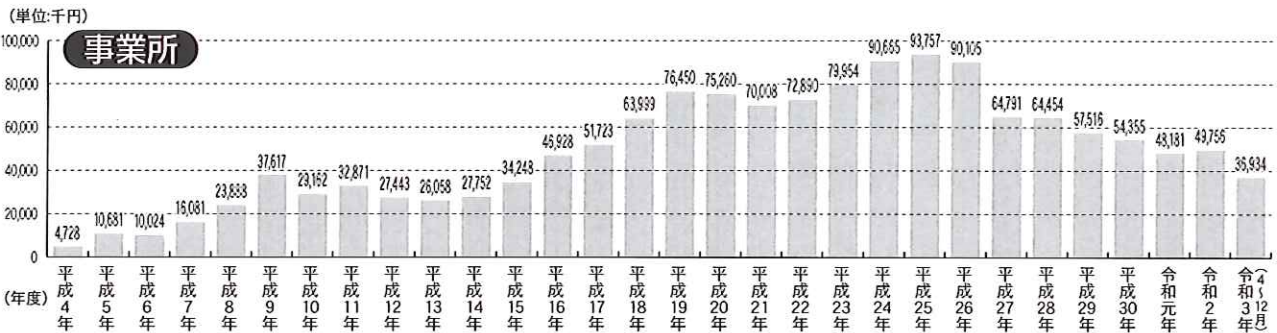
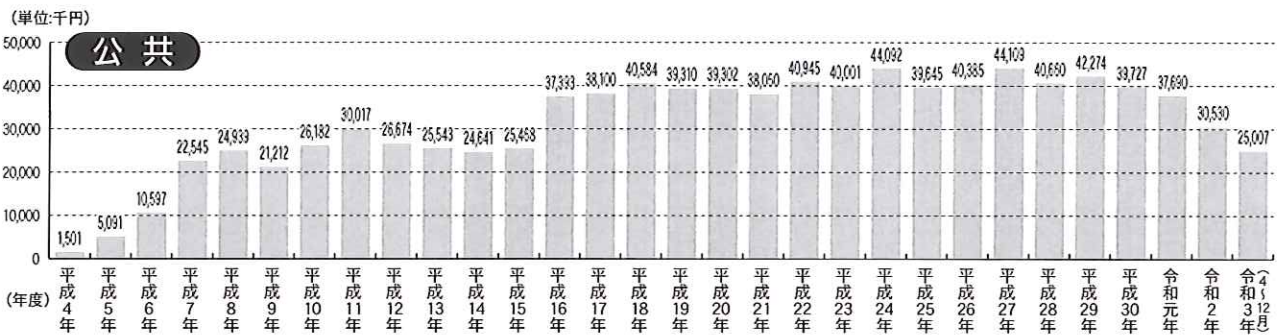


30年の事業実績統計資料

【年度別就業延人員】



【年度別受注先別契約金額】



歴代役員

| | 平成4年 | 平成5年 | 平成6年 | 平成7年 | 平成8年・9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 |
|------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 理事長 | 金澤 豊 | 金澤 豊 | 金澤 豊 | 金澤 豊 | 金澤 豊 | 金澤 豊 | 金澤 豊 | 金澤 豊 |
| 副理事長 | 並木 徹郎 | 並木 徹郎 | 並木 徹郎 | / | 添野 孝志 | 添野 孝志 | 添野 孝志 | 荒井 武雄 |
| 理事 | 篠崎 一郎 | 篠崎 一郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 |
| 理事 | 須田 清 | 須田 清 | 須田 清 | 須田 清 | 須田 清 | 須田 清 | 伏木 喜市 | 伏木 喜市 |
| 理事 | 鈴木 亀之助 | 鈴木 亀之助 | 鈴木 亀之助 | 宝示 戸 博 | 宝示 戸 博 | 宝示 戸 博 | 宝示 戸 博 | 宝示 戸 博 |
| 理事 | 山中 清 | 山中 清 | 山中 清 | 小林 美郎 | 小林 美郎 | 小林 美郎 | 小林 美郎 | 小林 美郎 |
| 理事 | 宮内 輝武 | 宮内 輝武 | 宮内 輝武 | 宮内 輝武 | 小森谷 竹松 | 小森谷 竹松 | 小林 健三 | 小林 健三 |
| 理事 | 小田中 弘 | 小田中 弘 | 小田中 弘 | 小田中 弘 | 小田中 弘 | 小田中 弘 | 西浦 徳 | 西浦 徳 |
| 理事 | 縮野 倫之助 | 縮野 倫之助 | 縮野 倫之助 | 縮野 倫之助 | 縮野 倫之助 | 縮野 倫之助 | 大竹 文作 | 大竹 文作 |
| 理事 | 斉藤 昭治 | 大竹 吾一郎 | 大竹 吾一郎 | 大竹 吾一郎 | 大竹 吾一郎 | 大竹 吾一郎 | 宮本 智枝子 | 宮本 智枝子 |
| 理事 | / | 中里 辰夫 | 中里 辰夫 | 中里 辰夫 | 中里 辰夫 | 老沼 辰次 | 老沼 辰次 | 老沼 辰次 |
| 監事 | 柿沼 祐七 | 柿沼 祐七 | 柿沼 祐七 | 渡辺 悦男 | 渡辺 悦男 | 渡辺 悦男 | 渡辺 悦男 | 渡辺 悦男 |
| 監事 | 坂本 典 | 坂本 典 | 坂本 典 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 篠原 隆 | 関 邦雄 |

| | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年・18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年・22年 |
|------|--------|--------|--------|--------|-----------|-------|-------|-----------|
| 理事長 | 金澤 豊 | 金澤 豊 | 永田 元一 | 永田 元一 | 永田 元一 | 永田 元一 | 永田 元一 | 真瀬 宏子 |
| 副理事長 | 荒井 武雄 | 荒井 武雄 | 岡村 豊久 | 岡村 豊久 | 岡村 豊久 | 岡村 豊久 | 岡村 豊久 | 西浦 徳 |
| 理事 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 | 小林 敏郎 |
| 理事 | 伏木 喜市 | 伏木 喜市 | 伏木 喜市 | 伏木 喜市 | 軽部 栄子 | 軽部 栄子 | 井上 嘉昭 | 井上 嘉昭 |
| 理事 | 宝示 戸 博 | 森田 保由 | 森田 保由 | 森田 保由 | 平澤 ユキエ | 石塚 信一 | 石塚 信一 | 新井 明石 |
| 理事 | 五十嵐 武雄 | 五十嵐 武雄 | 中村 聡 | 中村 聡 | 中村 聡 | 中村 聡 | 中村 聡 | 中村 聡 |
| 理事 | 小林 健三 | 小林 健三 | 今井 弘輝 | 今井 弘輝 | 今井 弘輝 | 今井 弘輝 | 今井 弘輝 | 今井 弘輝 |
| 理事 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 関 邦雄 |
| 理事 | 大竹 文作 | 生井 要四郎 | 生井 要四郎 | 生井 要四郎 | 関 邦雄 | 関 邦雄 | 関 邦雄 | 杉本 俊 |
| 理事 | 宮本 智枝子 | 真瀬 美智子 | 鳥海 政一 | 鳥海 政一 | 斉藤 昭治 | 斉藤 昭治 | 杉本 俊 | 岡部 純夫 |
| 理事 | 真瀬 美智子 | / | 針谷 進 | 針谷 進 | 針谷 進 | 針谷 進 | 菅沼 隆 | 縮野 清 |
| 監事 | 渡辺 悦男 | 渡辺 悦男 | 縮野 茂男 | 縮野 茂男 | 縮野 茂男 | 縮野 本嗣 | 岩崎 明 | 森泉 勝 |
| 監事 | 関 邦雄 | 関 邦雄 | 関 邦雄 | 関 邦雄 | 片野 瀬一 | 片野 瀬一 | 片野 瀬一 | 片野 瀬一 |

歴代役員

| | 平成 23 年 | 平成 24 年 | 平成 25 年 | 平成 26 年 | 平成 27 年 | 平成 28 年 | 平成 29 年 | 平成 30 年 |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 願 問 | 真瀬宏子 | | | 真瀬宏子 | 真瀬宏子 | 真瀬宏子 | 真瀬宏子 | 真瀬宏子 |
| 理事長 代表理事 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 西浦 徳 | 杉本 俊 | 杉本 俊 | 針谷良七 | 針谷良七 | 針谷良七 |
| 副理事長 代表理事 | 杉本 俊 | 杉本 俊 | 杉本 俊 | 小室 享 | 小室 享 | 後藤正夫 | 後藤正夫 | 加藤正雄 |
| 理事 常務理事 | 大沢 十八 | 秋山善樹 | 秋山善樹 | 植松正雄 | 植松正雄 | 植松正雄 | 植松正雄 | 植松正雄 |
| 理 事 | 小林敏郎 | 小林敏郎 | 小林敏郎 | 小林敏郎 | 古谷 博 | 古谷 博 | 古谷 博 | 小島三利 |
| 理 事 | 中村 聡 | 中村 聡 | 中村 聡 | 中村 聡 | 田村俊輔 | 田村俊輔 | 石渡 眞 | 石渡 眞 |
| 理 事 | 関 邦雄 | 関 邦雄 | 関 邦雄 | 針谷良七 | 中村 聡 | 伴 光夫 | 五十嵐幸枝 | 五十嵐幸枝 |
| 理 事 | 伴 光夫 | 伴 光夫 | 伴 光夫 | 伴 光夫 | 針谷良七 | 五十嵐幸枝 | 齊藤逸郎 | 齊藤逸郎 |
| 理 事 | 小室 享 | 小室 享 | 小室 享 | 高橋 浩 | 伴 光夫 | 齊藤逸郎 | 西山みち子 | 染谷隆子 |
| 理 事 | 高橋 浩 | 高橋 浩 | 高橋 浩 | 金子キヨ子 | 高橋 浩 | 西山みち子 | 染谷隆子 | 野中文夫 |
| 理 事 | 五十嵐幸枝 | 五十嵐幸枝 | 五十嵐幸枝 | 五十嵐幸枝 | 金子キヨ子 | 染谷隆子 | 須田春沼 | 広瀬雄次郎 |
| 理 事 | 金子キヨ子 | 金子キヨ子 | 金子キヨ子 | 大森和男 | 五十嵐幸枝 | | 野中文夫 | |
| 理 事 | 舘野 清 | 舘野 清 | 舘野 清 | | | | 加藤正雄 | |
| 監 事 | 井手芳徳 | 井手芳徳 | 井手芳徳 | 井手芳徳 | 井手芳徳 | 井手芳徳 | 鈴木親之 | 鈴木親之 |
| 監 事 | 野家 毅 | 野家 毅 | 野家 毅 | 野家 毅 | 野家 毅 | 鈴木親之 | 片岡 明 | 片岡 明 |

| | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 |
|--------------|-------|-------|-------|
| 願 問 | 真瀬宏子 | 真瀬宏子 | 真瀬宏子 |
| 理事長 代表理事 | 針谷良七 | 針谷良七 | 針谷良七 |
| 副理事長 代表理事 | 加藤正雄 | 加藤正雄 | 加藤正雄 |
| 理事 常務理事 | 横塚清次 | 横塚清次 | 横塚清次 |
| 理 事 | 小島三利 | 小島三利 | 小島三利 |
| 理 事 | 石渡 眞 | 石渡 眞 | 松原一敏 |
| 理 事 | 五十嵐幸枝 | 五十嵐幸枝 | 五十嵐幸枝 |
| 理 事 | 齊藤逸郎 | 染谷隆子 | 染谷隆子 |
| 理 事 | 染谷隆子 | 広瀬雄次郎 | 広瀬雄次郎 |
| 理 事 | 野中文夫 | 伊藤 満 | 伊藤 満 |
| 理 事 | 広瀬雄次郎 | 山崎正勝 | 山崎正勝 |
| 理 事 | | 真瀬幸二 | 真瀬幸二 |
| 監 事 | 鈴木親之 | 鈴木親之 | 鈴木親之 |
| 監 事 | 片岡 明 | 片岡 明 | 片岡 明 |

設立30周年記念事業実行委員名

| | 委員長 | 副委員長 | 委員・事務局 |
|---------|--------------|---------------|---|
| 実行委員会 | 理事長 針谷良七 | 副理事長 加藤正雄 | 理事 五十嵐 幸枝 染谷 隆子 広瀬 雄次郎 真瀬 幸二 事務局次長 横塚 清次 |
| 式典準備委員会 | 理事 広瀬 雄次郎 | 互助会会長 齊藤逸郎 | 理事 山崎 正勝 監事 片岡 明 会員 網木 策栄 長谷川 祐二 事務局主任 山崎 喜人 佐山 明美 |
| 編集準備委員会 | 理事 真瀬 幸二 | 監事 鈴木親之 | 理事 伊藤 満 会員 青木 満男 加藤 憲次 沼尾 喜司 事務局主任 山崎 喜人 佐山 明美 |

[表紙写真提供] 広瀬雄次郎

[イラスト提供] 真瀬 幸二

佐怒賀 豊

※式典は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み中止といたしました。



高齢者の拠点として

公益社団法人野木町シルバー人材センター

常務理事兼事務局長 横塚 清次

ここに設立30周年を迎える事が出来ました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。また、今日までの多くの諸先輩のご苦勞、ご努力にも感謝申し上げます。

日々会員の皆様と接し、目的意識を持って生活することがいかに大切か「生涯現役」でありたいものと痛感しております。シルバー人材センターは、一人でも多くの高齢者が、その希望に応じて生き甲斐を持って社会に参加できるよう設立され、「人生100年時代」生涯現役社会の実現に大きな役割を担っていると考えております。

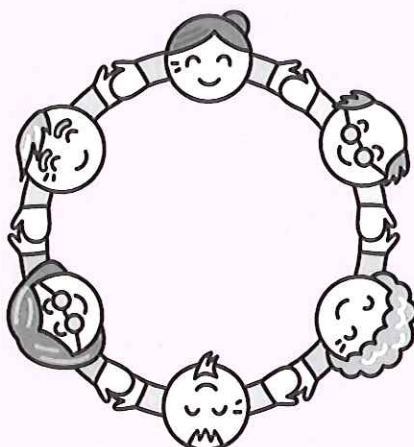
シルバー人材センターの理念でもあります「自主・自立、共働・共助」これは、会員の皆様が自主性・積極性を持って事業活動に参画される事であり、当センターも会員参加型の運営を目指しています。職群班長制度の発足はその具体策の一環です。平等に就業機会を提供するなど共働・共助の精神で仲良く楽しくセンター運営に参画して頂くことにより、センターの充実強化が図れるよう取組むことが重要と考えております。

コロナ禍の厳しい事業環境が続いておりますが、会員の安全・安心を第一に、地域のニーズの受け皿として、さまざまな会員の活躍の場を広げ、地域の皆様に喜ばれるセンターを目指して、会員の皆様と手を携え、「高齢者の拠点」を作って行きましょう。

人に必要とされる日々へ

ありがとうと言われる喜び感じてみませんか。
人に必要とされる喜びでお金では得られない
感動と会いましょう。





野木町シルバー人材センター設立 30 周年を迎える事が出来ました。これも、偏に多くの皆様のご協力の賜物と感謝する次第であります。

記念誌発行に際し、ご寄稿頂いた関係機関、発注者の皆様、そして会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

編集にあたり、今までの歩みを振り返る事に併せ、会員の就業写真を多く掲載いたしました。これは、当センターの事業内容を紹介し、仕事を発注して頂くお客様への働きかけと、会員に対しては事業の全貌を知って頂き、受注拡大や新規会員入会の一助を担ってもらう事が背景にあります。従いまして、記念誌の発行部数は、多くの関係者や町民の皆様の目に留まる事を願い、以前の記念誌に対し大幅に増やしております。

記念誌名「ひまわり」は、野木町の花「ひまわり」としました。(20 周年記念誌と同様)

30 周年記念誌編集準備委員一同



設立 30 周年記念誌

ひまわり

発行日 令和 4 年 2 月 1 7 日

編集 設立 30 周年記念誌編集準備委員会

発行 〈公社〉野木町シルバー人材センター

印刷所 株式会社鈴木印刷所

写真でつづる「シルバー事業紹介」仕事編



夜間施設管理(虹の舎様)



清掃業務(キラリの舎様)



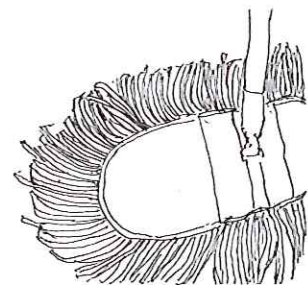
夜間施設管理(キラリの舎様)



清掃業務(アイザック様)



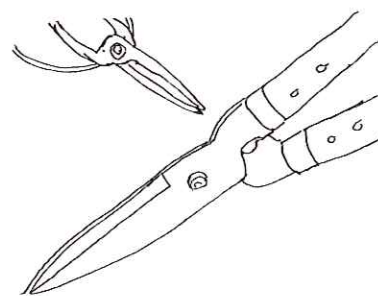
清掃業務(野木病院様)



写真でつづる「シルバー事業紹介」仕事編

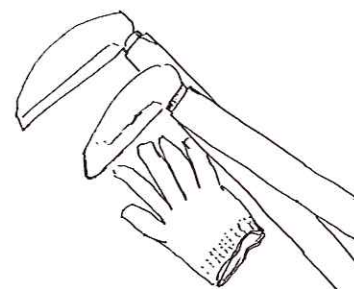


草取り・片し班



植木班

写真でつづる「シルバー事業紹介」仕事編



刈払班



刈払班



農作業手伝い



施設管理(総合運動公園)



ライスセンター 米の等級検査補助(JA小山様)

写真でつづる「シルバー事業紹介」仕事編



駐輪場管理



公民館管理



ホープ館管理



ホフマン館管理



製品加工補助(小澤製粉様)



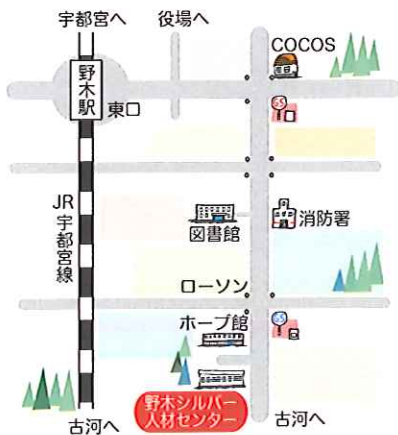
障子、襖、網戸張り



独自事業「書道教室」



独自事業「刃物研ぎ」



お問い合わせ先



公益社団法人
野木町シルバー人材センター

〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼5840-1

TEL 0280-56-2137

<http://www.sjc.ne.jp/nogi123>